

- 補助率：一定の要件を満たす事業所は 3 / 4
それ以外の事業所は 1 / 2
- 上限台数：必要台数（施設定員数）

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	197,016	導入計画に基づいて導入された介護ロボット導入費用に対する助成
合計	197,016	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

国では、日本再興戦略の中で「ロボット介護機器開発5ヶ年計画」を打ち出すなど、ロボット介護機器の開発・導入を進めている。本事業は、事業所へ介護ロボット導入の支援を行い、これに寄与する事業である。

また、第8期岐阜県高齢者安心計画において「2-2 介護業務の効率化と質の向上」に記載

(2) 国・他県の状況

上記計画に則り、国では「ロボット介護機器開発・導入促進事業」、「ロボット介護機器導入実証事業」を実施するなど、介護ロボットの普及に向けた開発支援事業を展開している。

(3) 後年度の財政負担

基金の継続に応じて、事業を継続する。

(4) 事業主体及びその妥当性

各介護保険事業所で介護ロボットを導入する契機となる計画の策定及び当該介護ロボットの導入を支援することで、働きやすい職場環境の構築のためのインセンティブを与えるものであり、広域的に取り組むために県事業として行うことが妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 介護人材確保を目的として、県内の介護保険事業所に介護ロボットの導入を促進し、職場環境の改善を図る。また、他の事業所の参考となる「介護ロボット導入計画（3年計画）」を作成し、他施設への普及を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H27)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
① 見守りセンサー導入補助台数	0	1,473	1,989	2,505	4,050	36.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	介護施設が介護ロボットを導入する際の費用に対して補助を行った。 （実績） 補助事業所数：94事業所 補助金額：215,644千円
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
<p>(評価) 3</p>	<p>国では、日本再興戦略の中で「ロボット介護機器開発 5 ヶ年計画」を打ち出し、ロボット介護機器の開発・導入を進めているため、事業の必要性は高い。</p> <p>また、介護人材の確保は本件においても重要課題であり、働きやすい職場環境の構築に有効な介護ロボットの導入を支援するという県の関与は妥当である。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
<p>(評価) 2</p>	<p>介護ロボットの導入により、介護負担が軽減する</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
<p>(評価) 1</p>	<p>比較的簡単に申請できる介護ロボット補助金であり、事業所も利用しやすく効率的である。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>介護ロボットについて各事業所の理解度を向上させるため、効果的に周知していく必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>基金の継続に応じて、適宜制度を見直す。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	